



江戸・明治期の^{ぎにぼこ}大福帳、^{ぎにぼこ}銭函、通貨（中山道歴史資料館蔵）

企画展

中津川の歴史文化

～古銭から見る中津川宿の流通経済～

会期：令和5年10月3日(火)～令和6年3月31日(日)

会場：中山道歴史資料館 第1展示室

鉱物博物館

ミニ企画展 スタッフのイチ押し

3月2日(土)から

鉱物博物館のスタッフ全員がそれぞれに選んだ、みなさんに観ていただきたいイチ押し収蔵品を紹介します。
スタッフの思いが詰まった収蔵品をぜひご覧ください。

- 会 期 / 3月2日(土)～3月31日(日)
- 会 場 / 鉱物博物館 企画展示室
- 休館日 / 毎週月曜日 (詳しくは8ページをご参照ください)



オーケン石 [EA97060024]
インド Malad, Mumbai, Maharashtra, India
写真左右約11cm



天青石 [EB20020003]
マダガスカル Sakoany, Katsepy, Mitsinjo, Mahajanga,
Madagascar
標本左右約15cm

(大林)

苗木遠山史料館

江戸時代料理復元シリーズ26 大名婚儀の料理展

3月2日(土)から

文化8(1811)年6月、11代藩主遠山友寿の婚儀が行われました。奥方になるのは旗本岡部外記の娘で、大名京極家の養女として輿入れました。

婚儀の料理は、初献・二献・三献でお色直し、それから本膳・二御膳・三御膳・天俣御膳部へと続きました。藩主婚儀の料理は、遠山家としては最高のものだったでしょう。その料理を再現します。

- 会 期 / 3月2日(土)～3月10日(日)
- 会 場 / 苗木遠山史料館 特別展示室



多治見市美濃焼ミュージアムコラボ企画展 没後100年 成瀬誠志とその周辺

1月28日(日)まで

郷土中津川の名工・成瀬誠志(1845～1923)は、恵那郡茄子川村生まれの陶芸家です。主に郷里や東京で焼き物制作にいそしみ、1893年のシカゴ・コロンブス大博覧会で工芸一等賞、1900年のパリ万国博覧会で銅牌を受けるなど世界的に作品が認められています。

成瀬誠志の没後100年を記念し、生涯にわたって自身の美を追い求めた誠志の世界を時代背景とともに紹介します。

- 会 期 / 令和5年9月2日(土)～令和6年1月28日(日)
- 会 場 / 苗木遠山史料館 2階展示スペース

- 休館日 / 毎週月曜日 (詳しくは8ページをご参照ください)



金彩色絵屋島合戦那須与一像
(個人蔵)

(浅井)

中山道歴史資料館

企画展 中津川の歴史文化～古銭から見る中津川宿の流通経済～

3月31日(日)まで

江戸幕府が貨幣経済を推進する中、新貨幣に流通経済活性化の大きな想いを込めて、宝永5(1708)年に^{ちゅうぞう}鑄造された十文銭の「寛永通宝」は、裏面に「永久世用」の極印が施されていました。しかし、その期待に応えることなく、僅か一年余りで通用停止を余儀なくされました。

その理由は、貨幣として「不人気・不評」であったためとされています。大きさが最軽量の^{かんえいつうほう}寛永通宝一文銭の2倍弱、重さが約10倍もあり、庶民の財布の大きさに合わなかった、あるいは三貨制度の中で、億単位で鑄造され全国に普及していた寛永通宝の利便性が勝った、などの理由が想像できます。理由は定かではありませんが、貨幣鑄造の歴史上きわめて珍しい出来事でした。

- 会 期／令和5年10月3日(火)～令和6年3月31日(日)
- 会 場／中山道歴史資料館 第1展示室
- 休館日／毎週月曜日(詳しくは8ページをご参照ください)
- 入館無料日／1月10日(水)・2月4日(日)
3月3日(日)



寛永通宝十文銭(個人蔵)
裏面(右)に「永久世用」の極印
直径約3.7cm 約9.4g



寛永通宝一文銭(個人蔵)
直径約2.4cm 約0.8g

(伊藤)

東山魁夷心の旅路館

第Ⅳ期展 中国—水墨の世界

1月6日(土)から

唐招提寺御影堂の障壁画制作を依頼された魁夷は、^{かんじん}鑑真の生まれ故郷である中国を旅して、水墨画の世界へと歩み入ります。画家のたどり着いた深い精神性を感じさせる水墨作品を中心に展示します。

- 会 期／1月6日(土)～3月17日(日)
- 会 場／東山魁夷心の旅路館
- 休館日／毎週水曜日(詳しくは8ページをご参照ください)

(入曽)



瀧江千里〈習作〉(木版画)



黄山雨収〈習作〉(木版画)



瀧江月明(木版画)

熊谷樞つけちギャラリー

第Ⅲ期展 熊谷樞 追悼展 一旅した画家のメモリー

1月6日(土)から

熊谷樞は20代より山に魅せられ、多くの山を巡り旅するうちに絵を描き始め、父守一と同じ「画家」という道を歩み始めます。

令和4年2月24日に逝去された樞の画業を偲び、旅での記憶「雪山風景」や「そこで暮らす人達」を描いた作品等を展示します。

また、令和5年10月に長瀬昌平氏から寄贈を受けた熊谷樞作品を展示公開します。

- 会 期／1月6日(土)～4月14日(日)
- 会 場／熊谷樞つけちギャラリー
- 開館日／金・土・日および国民の祝休日
- 入館無料日／1月7日(日)



アルティブラーノで
遊ぶ子どもたち
(油彩 116.7×90.9cm)



新雪がきた八方尾根
(油彩 60.6×60.6cm)

(原)

- 各教室・講座の申込方法など詳細は、各館のご案内をご参照ください。
- 各館の連絡先は8ページをご参照ください。



最新情報は各館にお問い合わせください。
 中津川市の博物館WEBサイトでもお知らせします。
 ※右のQRコードを読みとると、中津川市の博物館WEBサイトが表示できます。



中津川市の博物館WEBサイトQRコード

苗木遠山史料館

金曜講座 史料館調査報告

史料館文書でわかった内容を紹介します。

- 講師：調査員 千早保之

開催日	第5回 1/19(金) 第6回 3/15(金) 奇数月第三金曜日(隔月)		
時間	13:30~15:30	対象	一般
定員	20名	費用	資料代 250円
申込	開催日まで随時受付、先着順		
その他	持物：筆記具		

古文書教室 史料館文書を読む

遠山家古文書を解説しながら、みんなで学んでいく教室です。

- 担当：調査員 加藤宣義・千早保之

開催日	第10回 1/27(土) 第11回 2/24(土) 第12回 3/23(土) 毎月第四土曜日		
時間	13:30~15:00	対象	一般
定員	20名	費用	年間1,000円
申込	開催日まで随時受付、先着順、途中の回からの参加可		
その他	持物：筆記具、くずし字用例辞典		

中山道歴史資料館

文学講座 島崎藤村の『夜明け前』を味わう I

島崎藤村の大作『夜明け前』を朗読しながらわかりやすく解説します。

- 講師：館長 西村友孝

開催日	第19回 1/17(水) 第20回 2/7(水) 第21回 2/21(水) 第22回 3/6(水) 第23回 3/20(水・祝) 毎月第一・第三水曜日		
時間	13:30~15:00	対象	一般
定員	14名	費用	1回 250円
申込	開催日の1週間前まで随時受付、先着順		
その他	持物：『夜明け前』		

歴史講座 幕末維新講座

明治維新を中心に、明治時代の歴史をわかりやすく読み解きます。

- 講師：仁科吉介

開催日	第18回 1/10(水) 第19回 1/24(水) 第20回 2/14(水) 第21回 2/28(水) 第22回 3/13(水) 第24回 3/27(水) 毎月第二・第四水曜日		
時間	13:30~14:30	対象	一般
定員	14名	費用	1回 250円
時間	開催日の1週間前まで随時受付、先着順		



伊藤博文揮毫扁額

子ども科学館

✂ ペットボトルと光ファイバーで幻想的なアート作品をつくろう

ペットボトルと光ファイバーを使って幻想的なアート作品をつくります。

開催日	時間	対象	定員	費用	講師	申込
1/27(土)	9:30~11:30	小学生以上	12名	900円	職員	締切 1/19

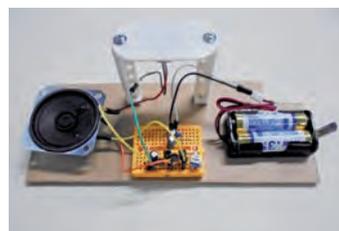


ペットボトルと光ファイバーで幻想的なアート作品をつくろう

✂ おもしろパーカッションをつくろう

トランジスタ4石で増幅・発信回路をつくり、圧電素子の信号を不思議な音に変換する打楽器をつくります。

開催日	時間	対象	定員	費用	講師	申込
2/10(土)	9:30~11:30	小学生以上	12名	500円	職員	締切 2/2



おもしろパーカッションをつくろう

✂ おもしろ科学実験～実験と工作～

「なぞの光をみよう」「化石をつくろう」など、おもしろい実験と工作をします。

開催日	時間	対象	定員	費用	講師	申込
3/9(土)	9:30~11:30	小学生以上	7名	300円	桃井制次さん 他	締切 3/1

- 定員を超えた場合は抽選です。
- 抽選に当たった方には電話で連絡します。(不在の場合は、次の方が当選になることもあります。)
- 小学校3年生以下の参加には、大人の付き添いをお願いします。
- 費用は変更になる場合があります。

鉱物博物館

✂ 古代人のアクセサリ「まが玉」をつくろう

滑石というやわらかい石で「まが玉」をつくります。まが玉についてのミニ学習もあります。

開催日	時間	対象	定員	費用	講師	申込	その他
2/11 (日・祝)	10:00~12:00	小学生以上	12名	500円	職員 友の会	1/12~1/26 抽選	小3以下は保護者同伴で 持物:古タオル・エプロン

✂ 金属の手鏡づくり

溶かした金属を固めて磨き、むかしの人が使ったような金属製の鏡をつくります。

開催日	時間	対象	定員	費用	講師	申込	その他
3/3(日)	9:30~12:00	小4以上	6名	600円	職員	2/2~2/16 抽選	小3以下は保護者同伴で

✂ ちっちゃな鉱物を標本にしよう

小さな鉱物でも立派な標本になります。
鉱物について学びながら、マイクロマウントとよばれる鉱物標本をつくりましょう。

開催日	時間	対象	定員	費用	講師	申込	その他
3/24(日)	10:00~12:00	小4以上	12名	400円	職員	2/22~3/8 抽選	小3以下は保護者同伴で



古代人のアクセサリ「まが玉」をつくろう



ちっちゃな鉱物を標本にしよう

鉱物博物館

北海道石—鮮やかに蛍光する有機鉱物

北海道石 (Hokkaidoite) は、2023年に承認された日本産新鉱物です。紫外線をあてると鮮やかな蛍光を発することもあり、新種認定が発表されるとテレビなどのメディアでも取り上げられて、鉱物の新種発見のニュースとしては異例ともいえる話題となりました。

北海道の2か所から発見されましたが、そのうち模式地となった産地の標本を、発見者のおひとりからご寄贈いただきましたので、常設展示の「蛍光」コーナーに展示しました。

北海道石はC₂₂H₁₂という組成をもつ有機化合物の結晶、すなわち有機鉱物です。模式地産の標本では層状のオパール中に黄色の微細な結晶をなしています。

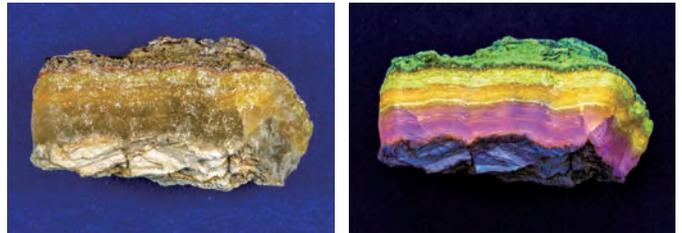
模式地周辺地域は、以前から赤・オレンジ・黄・緑・青など鮮やかな蛍光を発するオパールが産することが知られていました。

温泉沈殿物としてできたと考えられるこれらのオパールが、なぜ鮮やかな蛍光を発するのか。有機物が原

因かもしれないと考えられていましたが、北海道石など数種の有機鉱物がオパール中に含まれ、蛍光を発していることが分かりました。

北海道石などの有機鉱物はたいへん珍しい存在ですが、未解明の部分が多い石油の生成過程ともかかわりが深く、その謎を解明するカギとなるかもしれません。

Tanaka, R., Hagiwara, A., Ishibashi, T. and Inoue, Y. (2023) Hokkaidoite, IMA 2022-104. CNMNC Newsletter 71; Mineralogical Magazine, 87(2), 334-334.



北海道石 [EB23120003]

通常光下
黄褐色に見えるのはオパール

紫外線 (長波: 365nm) 照射下
表層の緑色部と表層近くの黄色部
が北海道石

北海道河東郡鹿追町北瓜幕 (採集許可: 環北大国許第2307051号)
標本左右約7.5cm

(大林)

東山魁夷心の旅路館

「山雲」

奈良県唐招提寺御影堂の上段の間にある襖絵の「山雲」は、同時期に描かれた宸殿の間の「濤声」と共に、1975年、日本画家の東山魁夷によって完成されました。唐招提寺は、五度の渡航失敗の果てに盲目となり、六度目にしようやく日本へたどり着いた唐の高僧・鑑真和上が、759年に創建した律宗の総本山であり、魁夷は1970年にその御影堂障壁画の制作を依頼されています。この「山雲」制作のために初夏から山へと向かい、黒部溪谷、飛騨から上高地、御母衣ダムから天生峠、さらには蔵王・三階ノ滝、日光・霧降滝など日本各地の山々を訪れ、数多くのスケッチを残しました。特に白川郷近くの天生峠で出会った景色に強い啓示を受けた

魁夷は「山肌を這い上る雲烟による千変万化の姿と、近景の樹葉の濃淡の彩り、幽玄な景趣に、私は思わず息を呑んだ」と語っており、これらの取材をもとに障壁画を描き上げました。群青と緑青の岩絵具を適度に焼いて生成した渋みのある色を薄い調子で何度も塗り重ね、段々に濃くしてゆくことにより水墨画に近い精神性の深い世界を再現しています。ここには、度重なる苦難の末に日本へ戒律を伝えた鑑真和上の魂の安寧を祈るため、実際には見ることのなかった日本の風景を捧げようという画家の思いが込められています。

現在、東山魁夷心の旅路館で開催中の第IV期展「中国—水墨の世界」において「山雲」の複製画を展示していますので、ぜひご覧ください。



山雲 (新復刻画)
(本画: 1975年 紙本彩色 311×66.7cm)

(入曾)

江戸中期 大名遠山家の存亡の危機

6代苗木藩主遠山友将は7歳で家督を継ぎましたが、虚弱で10年後に病死しました。今なら高校3年生の歳です。目立つ実績はありませんでしたが、書画を残しています。

当時は、先代の生前に相続者が幕府の承認を得ていないと家名が断絶してしまいました。友将にはまだ子がいなかったため、叔父左兵衛(友央)27歳が、友将より10歳年上でありながらその養子(7代)と認められ、友将はその翌日病死しました。

その10年前、左兵衛の兄5代藩主友由が28歳で病死した時、嫡男6代友将はまだ7歳で、江戸城の勤めは困難と考えられました。江戸城出入りは旗本(将軍の直臣)であれば認められるため、叔父友央が旗本500石となり、江戸城内では少年大名(甥・友将)の後見人を兼ね、大名代行も出来ました。

友将の若死には計算外でしたが、旗本の友央を呼び戻すこととなり、大名代行としての10年の経験は、苗木藩にとって叶ったりの好条件となりました。

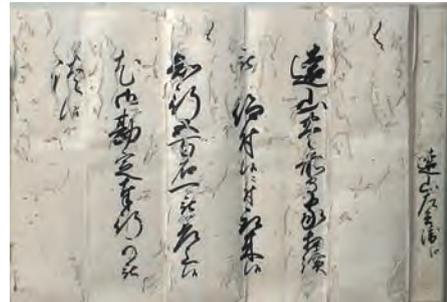
ところが、幕府からは後継認可と引き替えに旗本500石の領知(差し出)せよとの指示を受けました。

遠山左兵衛へ

遠山豊前守家相続仰せつけられ候に付き、知行五百石差し上げらるべく候。尤も勘定奉行談じらるべく候。

一般的に旗本は代官に収納させ、蔵米を受け取る形でしたが、苗木藩では内々に蔵米を渡していたのではないのでしょうか。500石分を上知せよとの指示に、辺地の吉田・大野・寺前・小野の4小村を充てましたが、1万521石から1万21石の極少大名となりました。さらに1万石以上が大名ですから、22石失えば大名の資格を失うという、瀬戸際に立たされることになりました。

若き日のこうした苦難を糧に治政に配慮を尽くした7代藩主遠山友央は、遠山家中興の君主と評価することが出来ます。



旗本知行五百石の差上げを命じた書状(当館蔵)

(千早)

中津川商人の無尽(商人無尽)

江戸時代から明治期、中津川の経済活動の原動力となった商人たちの中には、講(無尽)が存在していました。講については、弘化3(1846)年の中津川宿問屋市岡家文書「萬記」の中にある「大黒天に供え物する」・「頼母子講」などの記述からも推察することができます。この「頼母子講」は鎌倉時代に起源を持ち、困窮者に金銭などを融通し救済したことに始まり、室町時代を経て江戸時代に普及しました。この講の種類は多く、その一つに幕府が奨励した災害・凶作・病気などに備える食料の貯蓄(郷蔵)があります。

挿絵資料「江戸風俗年中行事」には、床の間に掛けられた商売の神様の軸を前に、「えびす講」を催す商人たちのようすが描かれており、商売繁盛への強い思いが感じられます。「萬記」には、中津川でも大黒天(金融・商売の神様)を迎える習慣があると記されており、中津川市史には、年中行事として10月に行われていたと記述されています。

「えびす講」には、多くの商人たちが集まり、奉納・感謝・融通の話し合いなどが行われていたと考えられます。中津川で行われていた講には、主な商家がリー

ダーとなり、宿内の商売の先行きや見通しを話し合い、破産などを防ぐために「資金融通」がされた商人講や、宿役人と有力商人を結び付ける救済講的なもの、殿様無尽など半ば各村への割り当てのようなものまでありました。いずれも「備荒貯蓄」の精神(連帯責任・相互監視・相互扶助)などの意識があったと考えられ、さまざまな講が明治の時代まで形を変えながら商人達によって引き継がれていきました。明治29(1895)年から、西宮神社で正月10日に通称「えべっさん・おいべっさん」として「十日市」が催されて以来、100年を超える現在まで催事を支えてきた栄津組の講員の多くは、江戸時代から中津川宿で商いをしていた商家の方々です。西宮神社には明治10年頃(推定)作成された中部講の額が残されており、当時の商家の屋号が多く記されています。この額は現在、問家大正の蔵で展示されています。



江戸風俗年中行事：えびす講(個人蔵)



萬記(個人蔵)

(伊藤)

中山道歴史資料館

伊藤博文揮毫額を展示しています

勝野正彦氏から中津川市に寄贈された伊藤博文揮毫扁額を、中山道歴史資料館で展示しています。
 勝野家は、現中津川市にて会社を創業し、明治30年代には岐阜県第一の規模を誇り、横浜でも生糸の取引商いを行っていました。この書(写真4ページ)は、財界で活躍した勝野家と初代内閣総理大臣となった伊藤博文との友誼(友情)を示す貴重な資料となっています。
 『伊藤博文公年譜』(叡公追頌会、1942年)によると、文久2(1862)年6月16日、伊藤博文(当時22歳)は、江戸から中山道経由で上京途中の長州藩主毛利慶親に謁する(面会する)ため、桂小五郎に従い京都を出立、同月20日に中津川宿に到着したとあります。毛利慶親が中津川宿に到着後、桂小五郎ら長州藩の重臣たちと3日間かけて話し合い(中津川会議)が行われました。同月28日には、桂とともに博文も帰京しました。



伊藤博文揮毫扁額(右上)

文化の日入館無料デーを開催しました

中津川市の博物館6館(苗木遠山史料館、中山道歴史資料館、鉱物博物館、子ども科学館、東山魁夷心の旅路館、熊谷樞つけちギャラリー)では、11月3日(文化の日)に館内を無料開放し、各館で催しを開催しました。
 子ども科学館では、午前中にミニ科学工作まつりを開催し、工作や体験のコーナーを楽しんでいただきました。お天気にも恵まれ、たくさんの方にご来館いただきました。



箏演奏
(苗木遠山史料館)



蓄音機懐かしの音色鑑賞会
(中山道歴史資料館)



第Ⅲ期展
(東山魁夷心の旅路館)



手作りホバークラフト試乗
(子ども科学館)



ジェムストーンさがし
(鉱物博物館)

寄贈を受けました 2023年9月～11月受贈分

- | | | | |
|----------|------------------------------|-------|---|
| 苗木遠山史料館 | 中村 百花 様 模型1点
千早 保之 様 絵図3点 | 鉱物博物館 | 片田 宏 様 鉱物標本5点
川井一秀 様 鉱物標本15点
前原 謙二 様 鉱物標本1点
市岡 文彦 様 鉱物標本等14点 |
| 中山道歴史資料館 | 小池のり子 様 木版画等18点 | | ありがとうございました。 |

休館日

1月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

2月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29		

3月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

熊谷樞つけちギャラリーは金・土・日および国民の祝休日のみ開館
 東山魁夷心の旅路館休館日 その他4館の休館日
 *年末年始休館日のお知らせ 12月25日(月)から1月5日(金)まで全館休館

中津川市博物館

夜明けの森きらめきパーク
中津川市鉱物博物館
 〒508-0101 中津川市苗木639番地の15
 JR中津川駅からバス「夜明けの森」下車徒歩約40分
 FAX 0573-67-2191
 ☎ 0573-67-2110 <https://www.city.nakatsugawa.lg.jp/museum/m/>

わくわくドーム
中津川市子ども科学館
 〒508-0011 中津川市駒場1657番地の1
 JR中津川駅から徒歩約20分
 FAX 0573-66-9171
 ☎ 0573-66-9090 <https://www.city.nakatsugawa.lg.jp/museum/s/>

苗木城跡歴史の広場
中津川市苗木遠山史料館
 〒508-0101 中津川市苗木2897番地の2
 JR中津川駅からバス「苗木」下車徒歩約20分
 FAX 0573-66-9290
 ☎ 0573-66-8181 <https://www.city.nakatsugawa.lg.jp/museum/t/>

中津川宿を中心とした歴史の旅
中津川市中山道歴史資料館
 〒508-0041 中津川市本町2丁目2番21号
 JR中津川駅から徒歩約10分
 FAX 0573-66-7021
 ☎ 0573-66-6888 <https://www.city.nakatsugawa.lg.jp/museum/n/>

木曾谷に抱かれた美術館
中津川市東山魁夷心の旅路館
 〒508-0501 中津川市山口1番地15
 中央自動車道「中津川IC」から車で約25分「道の駅隣母内」
 FAX 0573-75-5225
 ☎ 0573-75-5222 <https://www.city.nakatsugawa.lg.jp/museum/k/>

山と青川の小さな美術館
熊谷樞つけちギャラリー
 〒508-0351 中津川市付知町4956番地の52
 (アートピア知交芸プラザ内)
 中央自動車道「中津川IC」から車で約40分
 ☎ 0573-82-4911 <http://www.kaya-kumagai.jp>